



プロダクトマネージャー Country Product Manager (CPM)

ASUS JAPAN株式会社での募集です。法人営業（その他）のご経験のある方...

募集職種

人材紹介会社

株式会社ジェイ エイ シー リクルートメント

採用企業名

ASUS JAPAN株式会社

求人ID

1522851

業種

ハードウェア

会社の種類

外資系企業

雇用形態

正社員

勤務地

東京都 23区

給与

600万円 ~ 1000万円

勤務時間

09:30 ~ 18:30

休日・休暇

【有給休暇】初年度10日 6か月目から 【休日】完全週休二日制 土 日 祝日 GW 年末年始 ・特別休暇（結婚休暇7日、誕生日...）

更新日

2025年02月20日 16:16

応募必要条件

キャリアレベル

中途経験者レベル

英語レベル

日常会話レベル

日本語レベル

ネイティブ

その他言語

中国語：北京語

最終学歴

高等学校卒

現在のビザ

日本での就労許可が必要です

募集要項

【求人No NJB2235741】

【業務概要】

ASUS製パーツ製品のプロダクトマネージャーとして、担当する製品の販売戦略などがメイン業務となります。

例：マザーボード、LCDモニター、グラフィックボード、PC周辺機器 など

プロダクトマネージャーは当社のビジネスにおいて、「司令塔」に位置付けられる大変重要なポジションです。「日本市場において、どのようなスペックの製品を、どのくらいの価格で、どのように販売するか」を考え、決断実行し、高いアウトプットに結びつけることがお任せ致します。

台湾本社、国内代理店を含め、社内他部署との連携しながら、業務を進めて頂きますので、語学力とコミュニケーション力を活かして、多岐にわたるスキルを身に着けられるポジションです。

製品知識だけではなく、営業、マーケティング、ネゴシエーションに関しても幅広く携われることにやりがいと成長を実感いただけるはずで

【主な担当業務内容】

- ・ 製品の企画
- ・ 販売戦略の立案・実行
- ・ 国内販売代理店との商談
- ・ 台湾本社と代理店間の調整役
- ・ 商材の規格および価格決定
- ・ フォーキャスト及び出荷管理
- ・ 販売後のトラブルシューティング業務

こちら業務は、製品の企画、価格の設定、販売戦略立案、本社との連絡・交渉、顧客との折衝、販売後のトラブルシューティングと多岐に渡ります。自分自身がプレイヤーとして働くだけでなく、ビジネスにおける司令塔として、関係部署のメンバーを動かす力も必要です。

状況が複雑に変化する環境下で、常にビジネス全体を把握し、最善の方法を考えて選択する、いわば「経営視点」が求められるポジションです。やりたい施策があり手を上げたら背中を押してくれる風土がある中目標を達成したい人には楽しい環境です。

スキル・資格

必須 (Must)

- ・ 日本語ビジネスレベル以上 (N1以上)
 - ・ 英語ビジネス会話可能なレベル
- もしくは中国語ビジネスレベル+英語日常会話レベル (読み書き聞き取り)
- ・ 日本市場向けの法人営業関連のご経験 3年以上、日本国内の会社での就業経験が 3年以上
 - ・ PC関連製品の知識や知見、もしくは興味関心
 - ・ 社内外ステークホルダーを取りまとめ、交渉調整し、プロジェクトを主導して推進するスキル

歓迎 (Nice to have)

- ・ プロダクトマネージャーの経験 (その他のデジタル製品)
- ・ 販売戦略立案および代理店との折衝経験がある方
- ・ マルチタスクの環境での業務経験
- ・ 海外製品を日本に導入した経験

会社説明

【概要】世界中で大好評を博した「Eee PC」を持つ外資トップクラスメーカーASUSTeK Computer Inc. (エイーステック コンピューター) の日本法人。グループ全体で従業員は約10万人、資本金は1220億円です。【PC世界マーケットシェアランク世界6位】現在は世界第6位ですが、今後3年以内に3位を目指しています。マザーボードに関しては50%以上のシェアをとりBCNランキング17年連続NO1です。後はEeePCを送り出すなど、開発力もあります。工場拡大や新製品への開発投資など、スピード感を持って活動しています。【事業内容】マザーボード、ビデオカード、光学ストレージ等のコンポーネントからデスクトップペアボーンシステム、サーバー、ノート PC、PDA、ネットワークデバイス、ブロードバンド機器、携帯電話にまで多岐に渡っています。日系メーカーのPCも、実は同社の部品が提供されているケースが非常に多く、PC部品・周辺機器の分野でも世界的なトップメーカーです。2007年には299ドルPCを発売、2010年には3Dコンテンツを楽しめるノートPCを発売するなど、多くの話題を呼んでいます。